

第 22 回 新木地区「地域会議」議事録

令和 5 年 2 月 19 日（日）

- 開催日時： 令和 5 年 2 月 19 日(日) 10:00～12:00
- 開催場所： 新木近隣センター 多目的ホール
- 出席者： (紙面の都合により割愛)
- 議題： 振り込め詐欺防止に向けて

■議事

1. 開会挨拶

<地域会議事務局長>

おはようございます、今日は一段と厳しい寒さの中皆さんお集まりいただき有難うございます。これより第 22 回新木地区地域会議を開催させていただきます。

世界では戦争など、安全対策をいくら行っても自然にはかなわないですが、その中で我々は何を行っていくかということで、議題を考えさせていただきました。本日は皆さんに楽しく井戸端海外を行っていただければと思います。

2. 我孫子市より

<市民協働推進課長>

みなさんおはようございます。本日のテーマは「安全・安心すみよいまちづくりに向けて」ということで、ボランティア活動・後継者育成・自治会活動のなどの意見交換していただくということですが、地域の皆様が身近な事柄に意見交換することは大事なことだと思います。最近ゴミ出し支援活動という話がありまして、久寺家ではお助け隊というボランティア活動でゴミ出し支援 1 回 2 0 0 円のボランティア活動があります。このように地域会議でまた新しい活動が出てくれればよいと思います。

3. グループ討議

<地域会議事務局長>

地域会議は地域活性化を行うということで我孫子市からの支援をいただいて実施しております。困ったことをみんなで共有し、楽しく活動していく。普段ボランティアという言葉は使わず自然体で地域活動を行っていることがボランティアとなっています。

それぞれの議題は大きな課題になりますが、各グループでどのテーマを選んでもかまいませんので皆さんが感じたことをお互いに意見交換し、楽しくおしゃべりしていただけたらと思います。

【1班】

- ボランティア活動
 - 出来る人を集める事が必要。
 - 勤めている人が活動に参加する事が難しい。
 - 集めるシステムがあれば良い。
- 後継者活動
 - 地域を知っている方が中心となって進めて頂きたい。
- 自治会活動
 - 次年度の役員を決めるのが大変な事となる。
 - 仕組み作りがあれば良い。
 - 市として子供を中心としたイベントがあれば若い方の関心を持てる。
- 南新木で、高齢者に対して、ボランティア活動はどうなっているか知りたい。
 - 高齢者が多くて、ボランティア活動がどうしているのか見守りを重視した活動を行っている。
- 南新木でデイサービスと地域介護予防を行っている。
 - 介護予備軍に対して、日曜日に施設を解放しているが、一人での活動には無理がある。
 - 応援者を地域の中でどうできるかが課題と考えている。
 - 自治会への交流が出来ていない。
 - 独居老人への買い物支援をボランティア活動として行っている。
 - 情報が自治会への周知していない。→悩みでもある。
 - 後継者もどこまで集まるのかが、問題と認識している。
 - 各団体で、活動内容を一覧表でも作成していきたい。
 - アンケートや情報を集める事もやっている。
 - 看取りを中心に活動している。
- 自治会として、加入世帯の減少と高齢化の2つの問題を抱えている。
 - 農村集落で生活共同体の仕組みがる自治会ではあるが、「〇〇講」の集まりが無くなっている。
 - 農作業の共同化も機械化でなくなりつつある。
 - 神社仏閣としての集まりが、唯一残っているが、停滞化している。
 - ボランティア活動を互助として一つの自治会としては無理になっている。
 - テーマ、課題。地域のボランティアが必要と認識している。
 - 地域会議で縦と横を繋げていかなければならないと思う。
 - 情報として流れを作ることが必要ではないか？
 - 後継者については、役員が15年も続いているので、補充要員が必要となる。
- ボランティアでエンジョイ新木野の経験がある。
 - 情報は見守りネットワークと民生委員と繋げている。
 - 悩みを聞いてくれない事もなる。
 - 後継者が問題であると認識している。
- ボランティアに来て頂けると有難い。

- 祭日に来て頂けるのが有難い。
- 認知症の施設で、何か対応が出来るかもしれない。
- 学校の P T A と桜まつりのイベントで、人が集まれる。
- レクレーションなど地域で企画もしている。
- P T A の役員とはつながりが良く企画などは参加人数が良い。ボランティアは人のつながりが重要だと考える。
- 南新木では、ボランティア活動は自分から率先して行っている。
 - 駅の花壇を植え替えなど継続している。
 - 我孫子の花壇ボランティアをサークルとして立ち上げて奉仕している。
 - ボランティアのスカウトを行っているが、対面での方法が確実と思われる。(人のつながりが良いと思う。)
- ボランティア活動は、義務感が無い。自治会活動は、義務感があるという前提がある。
 - 人の善意で成り立つもので自治会問題と次元が違う問題を一緒に討論は出来ない。
- 市では高齢者問題で。大学で講義した時に学生からボランティア活動をしたいとの意見があった。
 - 情報交換を対面で実施が出来ればコミュニティーを確立したい。
- その他意見など
 - 各団体のボランティア活動などは、周知されていない為集めるのが苦労している。
 - 高齢者対応している自治会や若者中止の自治会がある中で、高齢者を優先すると若者が阻害され若者を中心とすれば高齢者が阻害されるなど問題はある。
 - 高齢者の実態を知りたいと意見もある。(実際はどうか?)
 - 情報の入手や周知が出来ていない。
 - 連合体を組織出来ないか?
 - 意欲が無いから出来ない等の理屈が通っています。
 - 市民活動で、循環バスを走らせたい。(支所やスーパーに行けるような路線が必要)
 - 情報発信は各地域・団体で行っているが横のつながりが必要なのかも。

【2班】

- ボランティアにも無償ボランティアと有償ボランティアがある。
- エンジョイ新木野が行っているボランティア活動は、病院、買い物等の送迎、ゴミ出し、清掃等がある。有償ボランティアであり、コーディネーターと通して実行される。
- 色々なボランティア活動があることはわかるが、そのこと自体を知らない人が多いと思われる。P R の機会を持つことが大切ではないか。そのための説明会があってもいいのでは?
- 地元出身者ではないので、地域貢献をしたいと思ってもその方法が解らず、また人的な繋がりもほとんど無いためできなかったが、ある機会に勧誘を受けて民生委員となった。責任有る仕事ではあるが、実際にやってみると結構楽しいと実感している。自分以外の人でも、適切なタイミングで誘われたら活動を始める人もいると思う。自治会でも勧誘することが大事ではないか?
- 自治会では、役員になることが輪番制となっているところが多い。積極的なボランティア活動と云うよりも"仕方なくやっている"と云う意識の人が多いうように思う。
- 今は各人とのコンタクトを取ることで自体が難しい時代となっているが、勧誘の方法等工夫することが必要と思う。

- 過去にあるイベントに参加したことをきっかけとして、まち協のボランティア活動に入った人がいた。
- コロナに伴う規制も解除の方向にあるので、令和 5 年度は自治会のイベントに力を注ぎたいと思っている。
- 高齢化は退職後の自由な時間を取れる方が多くなるとも考えられるので、これを利用して地域ボランティアに携わることを積極的に考えたらどうか。
- (子供ボランティアについて) 中学校では部活との併用となるので平日のボランティア活動は難しい面がある。休日(土、日、祭日)に我孫子市の大きなイベント(福祉祭り等)に参加することはある。参加することで参加証明書がもらえる。またバザー等のボランティア活動も P T A が主体となり実施しているが、チラシ等の具体的な勧誘媒体を利用することで集客率を上げることができると思う。ボランティア活動は楽しいものであるということを知ってもらえるように努力するべきではないか。
- 安全・安心について、民生委員として要介助者に対してどう援助するべきか考えているが非常に難しい問題であり、民生委員(各自治会に 2~3 人)だけでは解決できないと感じている。この課題を共有できるどこかの組織(例えば自治会)と連携できないか考えている。
- ほとんどの自治会は毎年役員が入れ替わるので、連携は難しいと考える。例えば見守りネット的な組織との連携が有効なのではないか? 「向こう三軒両隣」的な気風が薄れてきている昨今ではあるが、いざと云う時にやはり頼りになるので、日頃から努めて近隣同士の付き合いを深めていくべきと思う。
- 以前自治会活動を行った時、今の見守りネット的な活動を目指したことがあるが、結局できなかったのが今の見守りネットワークを立ち上げた経緯がある。利用者と協力者(見守り支援者)は必ずしも近所同士とは限らない。
- 見守りネットワークのシステムは成功例として、市に投げかけ知らしめてほしい。地域会議がその役割を担ってほしい。小澤さんの後継者育成も大事。
- 特別支援学校の運営形態は各自治体で違っているので難しいが、現状は基本的に保護者が対応している。令和 6 年度からコミュニティスクールに移行することになっている。生徒が地域に貢献することは難しいが、畑、田んぼ等の手伝いができるように地域の人たちの協力があれば有り難い。また学校内で飼育する生き物とか校内の畑等の世話をボランティア活動としてお願い出来れば有り難い。
- 我孫子市では、市内の各小・中学校ごとに、学校と保護者そして保護者以外の有志が中心となって「学校運営協議会」が新しく設置され、各学校の運営を開始している。今後、近隣の小・中学校と連携して何かを実行したい場合は、その「学校運営協議会」が窓口となり、参加の可否を検討することになるので御承知おきいただきたい。

【3 班】

- ボランティア活動の内容を広く知らしめることが第一の順序と思う。センターだよりで地域のボランティア活動を紹介したらよいと思う。これなら私も参加できそう、興味ある、というきっかけができる。特集を組んで一覧表にするのも一方法かも。また地域一体となった取り組みも「ボランティアを普通と思い参加しやすい」雰囲気づくりに役立つと思う。例えば「我孫子市は一人一ボランティア活動の街」のようなスローガンで訴えるなど。
- 最近は自治会役員になりたくないの自治会に入らない、という人も出てきた。ゴミ当番はしないが平気でゴミは出すというアンバランスな実態がある。この人たちにはボランティアは理解できないと思うので、幅広くボランティア活動を PR することと同時に、一本釣りが効果的と思う。特に後継者づくりはこの方法がよいと思う。
- 見守りボランティアを 11 年やっている。その間にいろいろな人と知り合いになり、様々な誘いを受ける機会が

多くなった。小学校でボランティア登録を始めたことをここで初めて知ったので、広く知らしめることは重要だ。オンライン講演会を実施しているので、我孫子サイエンスカフェでググって見てほしい。

- 私はボランティア参加を 8 つやっているが、無理せず・できる範囲で・楽しく、を心がけている。これが長続きする秘訣と思う。
- 「ふらりえ新木野」を利用して、囲碁の会をやっている。会費 100 円だが、会費を払ってでも来てくれるようになることが大切だ。
- 私は 17 年間新木地区で教員をやっているが、新木地区は温かい人ばかりという実感で、良い地域と思っている。現在「コミュニティスクール」の一環として、「地域で子供を育てていく」をテーマにボランティア登録を呼びかけているが、登録者はまだ少ない。学校を地域に開放することとセキュリティを高めることは相反することもあり、一歩ずつ進めていきたい。
- 私は自治会会長を 10 年強続けているが、新たに自治会役員になる人はなかなかいないので、一本釣りをしている。自治会はボランティア活動の基本だと思っている。自治会活動の中でもなかなかまとまらない事項もあり、例えば防犯カメラ設置など時間をかけじっくりと進めていく覚悟も重要となる。
- 10 年強前に自治会からまち協に参加したのが最初で、以後面白いので続けている。自治会役員のなり手が少なくなっているのは主に高齢化と思うが、有償で参加することもあり得ると思う。
- 私も自治会から参加してやりがいを感じたので、現在までまち協委員を続けている。後継者を作るのはあらゆる機会に多くの人に告知することと、一人一人が後継者を育てていくという意識を持つことが重要と思う。
- 現在寺子屋教室を検討中であるが、授業の補完以外に社会の先輩として教えることができるので、この点も検討したい。
- ボランティア活動は型にはまったものがあまりないので、とにかく初めて見て検討・修正していくという緩さが必要。だと思う。

【4 班】

- 地域民生委員と社共の活動を行っている。民生委員では 190 件を担当している。
 - 高齢化が進み、皆さん心配事を抱えている。
 - 何かお手伝いをできればということを考えてお手伝いをさせていただいている。
- 新木小 PTA 会長をやらせていただいている。
 - 従来 PTA は強制だったが、現在はエントリー制を取り入れてボランティアという形態をとっている。
 - 学校行事、プール掃除など、イベントごとにボランティア、有志を募っている。
 - 強制ではなくなったことで感謝の声は聞けが、人が集まらなくなったという問題に直面している。
 - これからどう人を集めようかということが課題である。
- まち協で広報を担当、また自治会では防災会を担当している。
 - 孫が新木小に 7 人。毎朝横断歩道の旗振りを 3 年位続けている。
 - 親睦を深めて色々な相談し、一緒に何かをやっていくことで、地域に貢献できればと思っている。
- 自治会で活動しているが、生活がギリギリなので活動自体はあまりできていない。
 - 高齢の方だけでなく若い方の一人暮らしも増えてきている。
- まち協で企画部に所属している。

- ずいぶん前に入ったが自分一人ではできないので、地域の人たちと協力しながら無理をせず、自分でできる範囲のことをする、ということで楽しくやっていきたいという気持ちで続けている。
- 主人が 10 何年前に倒れて介護していたが、私の方が倒れそうになった。
 - 子供に心配されて、施設の方で面倒見てもらっている。
- 災害など、一人だと自分が気づかなければ逃げ遅れたりする。
 - 近所の若い方には「いざというときはお願いします」と公言している。
- 年に 1 回くらい民生委員の方が訪ねてきてくれる。
- 日頃から健康に気を付け、できるときにできることをして、お互い気持ちよく安全に暮らしていければと思う。
- 下新木には下新木区という支援団体が古くからあるが、若い方たちとほとんど交流がない。
 - 下新木区では吹上神社・長福寺の跡地など、月 1 回交代制で掃除のボランティア活動を行っているが、若い方はほとんど出てこられない。
 - 後継者について、世代間の隔たりが問題となっている。
 - 専業農家で年配（長老）の下新木区が強い。
 - 若い方はほとんどがサラリーマン。会社行事を優先して地域活動にはほとんど出てこない。
 - イベントで若い人がいないので、コミュニケーションが取れないという問題がある。
 - 農薬の散布について、以前小学生の通学中に散布してしまって問題になったことがある。
 - このようなことはどんどん言ってもらった方がコミュニケーションになるので、言ってもらいたい。
- 以前 PTA や自治会事務局などをしていたが、現時点では特にない。
 - 自治会では年間の手当てが出ており、人伝いで集めており、割と若い方が手伝ってくれる。
 - 自治会、民生委員、まち協、など同じ方が何役も担っていることが多い。
 - 参考だが、東京武蔵野市などは自治会がなく、まち協だけでコミュニティーづくりを進めている。
 - 全国的には、負担を減らすために自治会にお願いしていたことを減らす取り組みもあったりする。
- まち協の会長を 3 年間やらせていただいた。他に新木小運営委員、我孫子社協の理事、などやっている。
 - 新木には 50 年住んでいるが、会社人間だったこともあり近隣センターを知らなかった。
 - 自治会の委員をやって 3 年かけて自治会館を作った。それをきっかけに地域の方とふれあいができ、こちらのまち協にどっぷりつかることになった。
 - 皆さんが言うように、近所の皆さんとのふれあい、イベントもふれあいの一つ。
 - まち協も 4 大イベントなど、地域の方に来ていただく努力が少しずつ実っている。
 - あわんとりの萱刈りは、以前は十数人でやっていたが、今は 50 人も集まるようになった。
 - それが後継者育成に結び付けられたら良いと思う。
- 新木に来て 10 数年たつが、わたしも会社人間でまち協に何があるかわからなかった。
 - まちを歩いて知り合いだけでなく知らない方（顔見知り）とも挨拶できるようになった。
 - 農家の手伝いをする方や後継者が少なくなり、新木の農業は縮小している。
 - ボランティアは多いが土日が多く、受け入れる農家も少ない。
- 民生委員は 75 歳が定年である。
 - 次の方がなかなか今は見つからない。若い分には年齢は問わない。
 - ただしどなたでも良いというわけではなく、推薦・上の方が面接・市の方に連絡／面接、を行い決めていく。
- 新木小 PTA のボランティアを呼びかけているが、なかなか見つからない。

- 学校を知れる、先生と仲良くなれる、などのメリットを話して共感して協力を引き出している。
- 子どものために何かやりたいが時間がないという方が多い。
- 土日は家族サービスもしたいがその時間を割いており、それに勝るメリットを示していかないと難しい。
- まち協あわんどりなど、子供が喜んでくれるものはメリットとして示しやすい。
- 新木小ではボランティアをインターネットで募集しているようだが、効果はいかほどか？
 - 今のところインターネットでの募集はやっているが、何をさせるかというところがあまり進んでいない。
 - 地域の方をターゲットにしているが、保護者は時間がない方が多い。
 - 学校草刈り・剪定、みまもり、などをやってもらいたいと考えている。
- 農薬の空中散布など、散布しているところを子供に見せても勉強になるかも
 - 最近の農薬散布はドローンでやっている。
 - 見学は農業だけでなくドローンを利用することで技術の勉強にもなる。
- 天体観測の趣味があるが、この辺は電気が明るすぎて見づらい。
 - 時間を指定して街頭消すととても良い観測スポットになりそう。
 - 新木は星がとてもきれい。キャンプ場もあり、地域の良さをアピールしていくと活動のきっかけになりそう。
- 新木小の下など、蛍イベントの話があったがいつのまにかなくなってしまった。
 - カブトムシなどもとれるので、イベントとしたい。まち協も協力できそう。
- まち協と新木小が近いという地の利を生かしていきたい。
 - まち協イベントの子供ボランティアは、子ども達にとってもとてもいい勉強になる。
 - 春まつりは子供祭りという名称に変えていくことを検討している。
 - PTA と協力していきたい。
- まち協委員も年々年齢が上がってきている。
 - 定例は出なくとも、イベントだけの参加でもよい。
 - 企画段階からだとかなり前から時間取られて参加できない方も多いが、イベントだけでも助かる。
- 下新木など農地をたくさん持っている方も、こういう会議に参加して欲しい。
 - 昔ながらの方は協力しようという考えがない方が多いように思う。市やまち協から圧力をかけるぐらいでも良いと思う。
 - 現在まち協で駐車場を借りており、小学校にも無償で貸しているがとても助かっている。
 - 余っている土地はありそう。たとえば吹上神社の隣の藪は引き取り手もなくどうしていか困っていたりする。話し合いができる体制があれば有効活用できそう。
- 最近共稼ぎが多い、また 70 くらいまで働く人も多い、この辺がネックになっている。
 - 自治会の活動もあるためか？
 - 自治会懇談会もあるが、半分くらいしか出てもらえない。
 - 自治会の方も高齢化している
- 次のまち協イベントは春まつり。
 - できることできないこと、なんでも我々（まちきょう）にぶつけて欲しい。
 - 年寄りが考えると昔の遊びに偏ってしまうので、なんでも教えてほしい。
- まち協で新しくウォークラリーを始めたが子供たちの反響はどうだろうか？
 - 回覧板のみなのであまり知られていない。

- 公園巡りなど最初はよかったが何度も同じになってしまう。
- 公園巡り以外にも、どんなことをやりたいかを集めていきたい。
- 夏であれば朝のカブトムシなどの虫取りなど、涼しい時間帯であれば子供が集まりそう。
- 子供中心のイベントを考えたい。
 - 子供が集まると親も集まる、活気が出る。
 - 今日でも雛人形がすごいが、知らない人が多くもっていない。
 - センターだよりや我孫子広報に載るくらいだが、知らない人が多い。
 - HP や YouTube も上げているが、広報していきたい。
 - 近隣では、正月に竹のイベントを行っている。結構圧巻なので広報しても良さそう。
 - 湖北駅のイルミネーションはきれいなので、新木駅前に持ってきて良さそう
 - グリーンセンターは4月から新しく稼働するらしい。見学会とかを実施したい。
- 萱刈りは沢山ボランティアに来ていただいたが、なぜ集まった？
 - 以前から来てもらった方にお礼状を出していたら、だんだん増えてきた。
 - 来年からは豚汁などコミュニケーションをとりたい。
 - 飲食は人が集まる。南新木では餅つき大会を行っている結構人が集まる。
 - イベント大変だが、子供たちも集まるし楽しくできる。楽しいのは大事。

5. まとめ

<地域会議事務局長>

ボランティアは楽しむことが大事だと思います。本日は限られた時間の中で話せなかったこともあるかと思いますが、他にも皆さんが思っていることはアンケートに記載していただけたらと思います。この意見は次回以降の議題に反映したいと思いますのでご協力いただけたらと思います。

次回は6/25を予定しておりますので、またお集まりいただけたらと思います。今後も地域のコミュニケーションの推進を行っていきますので、今後ご参加／ご協力をお願いいたします。

今回はご多忙の中お集まりいただきありがとうございました。

※配布資料

- 1) 第22回新木「地域会議」(資料)